

社友会だより

第 23 号

発行 センツウ社友会
住所 千葉県松戸市六高台 2-102-12
〒270-2203 長谷川英夫 内
編集者 大場省平

* 役員会の開催 *

○日時 平成 21 年 9 月 25 日 (13:30~16:40)

○場所 東京海員会館 会議室

○出席者 中央在住全役員

1. 報告 (事務局長)

(1) 訃報 正木 実 氏

8 月 17 日逝去 (享年 85 歳)

(2) 総会結果 出席者 56 名 (出席申込者 60 名)

懇親会の費用は、会費だけでは賄いきれていない。

(3) 会費の収納状況

現在の未納者 65 名 (収納率 72%)

会費振込関係で郵便局への対応に苦慮している。

(4) 配布物 役員 の 分担表 (会報参照のこと)

年度別役員一覧表

2. 議事

(1) 会報の発行現況について

年 4 回を今後も維持する。原稿が集まらず、苦慮している。

原稿集めに各役員は協力してほしい。容易に書ける雰囲気を作る。

(2) 「ドコモグループOB会 (ドコモ同友会)」の設立案内と入会要請があったことに対する取り扱いについて

個人の入会は自由であること。

ドコモからの「案内状」に、社友会の説明文を付して会員に周知する。

(3) 会社創立記念日 (12 月 1 日) の日辺りを、社友会会員の集い (名称は別途) とし、各地域 (中央・関西・九州) 毎に一斉に懇親会的なものを開催したら如何か。

要請がかなりある。福祉担当理事を中心に、各地域と連絡を密にしながら、早急に検討に入る。

(4) ホームページの立ち上げについて

事務局支援担当理事が検討を急いでいるが、皆の知恵を出し合うことも大切だ。

(5) 今後の参考にするために、年会費引き金の一つとなった、これまでの各般にわたる「会社支援額」の分析をしておいたら如何か。

できない。なあなあでよい。

以上

* 社友会ゴルフコンペ開催 *

富岡 齋さん優勝

[中央地区]

平成 21 年 9 月 17 日 (木) クリアビュー CC において社友会恒例のゴルフコンペが開催されました。

好天でさわやかな秋空のもと、絶好のゴルフ日和でした。

今回、新たに若手の方 (2 名) も参加され、飛ばし屋の競演となり、後期高齢者?の方々は苦戦でしたが、久しぶりの顔合わせで和気あいあいのプレーを楽しみ

ました。

熱戦の結果、前回も好調だった富岡さんが、グロス 80・ネット 70 の 2 アンダーでダントツのスコアで優勝されました。

なお、参加された方々と入賞された方々は次のとおりです

参加者氏名 (スタート順・敬称略)

- 1 組 富岡 齋・阿部正一・足助 正・大村唱一
2 組 山根信義・福田嘉信・林 憲男・沖本良平
3 組 法安忠美・加藤恒男・山形剛士・黒田繁雄
4 組 濱田 治・森 勝廣・園田敏雄

入賞された方 (敬称略)

| 順位 | 氏名 | グロス | ハンディ | ネット | 他の賞 |
|-----|------|-----|------|-----|---------|
| 優勝 | 富岡 齋 | 80 | 10 | 70 | BG・DC×2 |
| 2 位 | 森 勝廣 | 90 | 18 | 72 | NP |
| 3 位 | 福田嘉信 | 98 | 20 | 78 | |

○優勝されて富岡さんの喜びの声

澄んだ秋空の下、天候と阿倍さん、大村さん、足助さんと社友会きっての錚錚たる好プレーヤーのメンバーにも恵まれ、緊張のなかにも慎重かつ大胆に攻めていったのが効を奏し、我も驚くグロス「80」と今年のベストスコアで優勝させていただきました。次回も更なる精進を重ねて優勝を狙いたいと思います。ありがとうございました。



○事務局から

本日はコンペの円滑な運営にご協力を頂き有難うございました。

社友会のゴルフコンペは創立以来の歴史を重ねておりますが、会員の加齢とともに不参加の方が多くなり、コンペとしての開催が難しくなりました。

今後は、若い方に多数参加していただき社友会の重要なイベントとして発展させたいので、皆様のご協力をお願いします。

なお、次回は、平成 22 年 5 月 20 日 (木) に開催します。(5 組 20 名の参加を希望しております。)

「ゴルフは本当に楽しい！」

レポーター 沖本良平さん

PALAU旅行 (パラオ)
平成 21 年 10 月 [関西地区 上中 健さん]

還暦を迎えた時に、妻と約束をした事として、70 歳までは、年に一回以上海外旅行を元気に一緒に行くこと、70 歳を超えた頃は、国内の温泉地めぐりをする事、また、完全リタイアまでに、タイムスケジュールを立てて、趣味を構築することです。



これまでの海外旅行先は、現役最後の歳の 60 歳で中国の古い都「西安」・近代化の進んでいる「北京」、61 歳では、オーストラリア・ブリスベンの「モートン島」と「ゴールドコースト」、62 歳では、もっと田舎の島として有名なサイパンの近隣の「ロタ島」(免税店すらなく田舎の小売店程度のため、ブランド品は手に入りませんが、のんびりできました。)



今年は、海が素晴らしいと評判の「パラオ」へ行きました。

パラオでは、昨年のロタ島でのシュノーケリングの体験から、今回も第一目的は、シュノーケリングによる「回遊する魚」や「サンゴ礁」を楽しむことが出来ました。特に「エンジェルフィッシュ等の熱帯魚」や「ナポレオン・フィッシュ」、「サメ」、「ウミガメ」、「ワニ」等に遭遇しました。

また、パラオの住民のほとんどの方々日本語の挨拶が出来るためか、暖かい対応と南洋植物の自然いっぱいの環境には、日本では考えられないほどゆったりとした時間を十二分に楽しめました。

帰宅後、写真の整理を行いながら、もっと滞在したかったとの話しとなり、来年こそ長期の海外旅行を計画しようと、行き先の検討をすることにしました。

また、元気な時こそ、なんでも出来ると思い込み、前回もレポートしました「ウクレレ演奏」を一番の趣味として続けており、先日地元の音楽仲間グループ「ジュン・アンド・ケンブラザーズ」を結成して、早速、地元の三田市駅前区の大納涼大会(大会参加者数約 200 名)へ出演して、4 曲ボーカルと演奏を行いました。

今後ともこの「ウクレレ演奏」の地域限定の活動を行っていくとともに、年に一度の楽しい海外旅行を継続して行ければと思っています。



***我が家の骨董シリーズ No 2 ***
[九州地区 金重 寛さん]

【楽焼編 2】
○了入赤茶碗

鑑定 丁丑水月(昭和 12 年 6 月)清 光(平木 清光)



了入(りょうにゅう・1756~1834)作。楽家九代了入、長入の次男で、号は秀人のち雪馬と称した。明和 7 年兄の得入から代を譲られ、吉左衛門を名乗った。寛政 3 年(1771)「聚楽焼の伝」を作つて

楽家の系図を現代のような形に整理した。56 歳で剃髪隠居、了々斎の一字をもらって了入と証した。天保 9 年(1838) 9 月 17 日没、78 歳。印は、天明 8 年(1788) 以前のもを「火前の印」と称し、楽の中が自で横棒が右下がり、以後、隠居するまでのものを「中印」といい、なかの横棒が平行、隠居後は草書の楽字印。



○且入黒茶碗(楽茶碗)

鑑定 丙子六月(昭和 13 年 6 月) 平木 清光

且入(たんにゅう・1798~1854)作。楽家十代且入、



了入の次男だが、兄が夭折したので家督を継いだ。十七歳で吉左衛門を襲名し、弘化 2 年(1845)、51 歳で剃髪隠居し吸江斎から宗且の一字をもらい、法号とした。嘉永 7 年(1854) 11 月 24 日没。

享年 60 歳。 印は「木楽印」

楽の下が正しい木になったもの、紀州徳川家治宝より拝領の大小叢書の楽印、吸江斎の草書楽印、大徳寺拙叟和尚の行書楽印・隠居印、十代嘉榿角印がある。

以上 「長次郎」楽家代々の略歴・印 磯野風船子著より。

※楽家系図(略図)

千利休は少庵(千利休の娘婿)を後継ぎにしたので長男宗慶に楽家を創設させ秀吉から、長次郎窯として楽金印と天下一の称号を貰ってやった。

初代長次郎

・田中宗慶 ⇒ 二代吉左衛門・常慶 ⇒
1522~1591 1561~1635(17 号で紹介)

三代吉左衛門 道入(のんこう) ⇒
1599~1656(17 号で紹介)

四代吉左衛門 一入 ⇒ 五代吉左衛門 宗入 ⇒
1640~1696 1664~1716

六代吉左衛門 左入 ⇒ 七代吉左衛門 長入 ⇒
1685~1739 1714~1770

八代吉左衛門 得入 ⇒ 九代吉左衛門 了入
1745~1774 1756~1838(今回紹介)

次回の発行は 1 月を予定しています。